

国際・国内海上輸送機能の強化



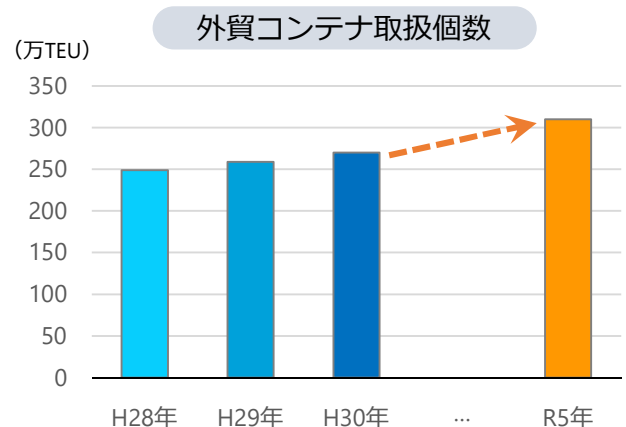
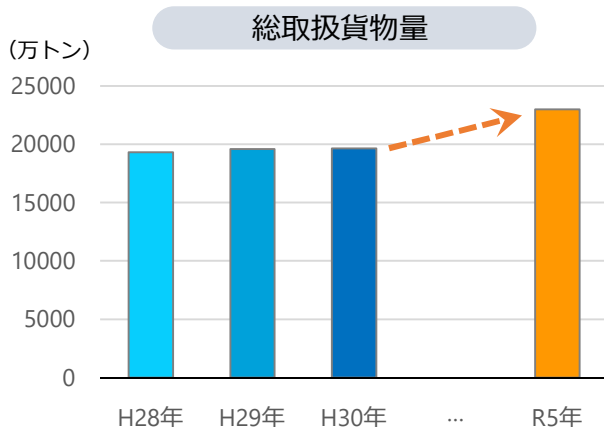
施策の展開

- ▶ 船舶の大型化等に対応するため、ガントリークレーンの整備やターミナルの拡張など、コンテナ取扱機能のさらなる強化を図るとともに、航路の機能維持・強化への取組をすすめます。
- ▶ 国際競争力を維持・強化しながら、港湾機能を長期的・安定的に維持していくため、継続的にしゅんせつを行います。
- ▶ 名古屋港の立地優位性を活かし、官民一体となった国内外へのポートセールスや、船社や荷主のニーズを的確にとらえたインセンティブ[※]を行うことにより、集貨・創貨拡大への取組をすすめます。
- ▶ 安全で効率的な港湾の利用を促し、円滑な港湾の利用に寄与するため、入出港する船舶への情報提供等を行います。



成果目標

	総取扱貨物量	外貿コンテナ取扱個数
現況 (平成30年値)	1億9,659万トン	270万TEU
目標 (令和5年値)	2億3,000万トン	310万TEU
目標の考え方	背後地域のものづくり産業を支える港湾物流機能の強化等により目標値を設定	コンテナ物流機能の強化や集貨拡大の取組等により目標値を設定



施策1を推進する事務事業

飛島ふ頭南ふ頭用地整備事業

飛島ふ頭南コンテナターミナルを拡張するため、用地整備を行います。

飛島ふ頭南側コンテナターミナル拡張予定地の活用

飛島ふ頭南側コンテナターミナル拡張用地の暫定活用を図ります。また、拡張用地全体の確保に向けても検討をすすめます。

西航路拡幅事業

大型化が進むコンテナ船等を安全かつ効率的に受け入れるため、西航路の拡幅を行います。

庄内川泊地整備事業

船舶の航行に必要な水深を確保するため、庄内川から流入する土砂をしゅんせつします。

港内泊地の維持しゅんせつ

計画水深の維持を図るため、公共岸壁前面泊地のしゅんせつを行います。

水域施設・係留施設等の管理・運営

防舷材などの岸壁付帯施設等を適切に維持管理し、船舶係留の安全及び水域施設環境の維持を図ります。

港湾施設の維持管理

港湾施設の使用状況を管理し、損傷等が生じた場合は緊急度に応じた補修を行う等、利用者の安全を確保します。

ポートセールスの推進

利用促進及び集貨に向け、国内外の船会社・荷主等に対してポートセールスを行います。

インセンティブによる船舶誘致・港湾施設の効率的利用促進

船舶の誘致や港湾施設の効率的利用を促進するため、入港料・港湾施設使用料の減免を行います。

船舶通航情報センターの管理・運営

安全で効率的な船舶通航を促すため、入出港船舶に対して係留施設等使用状況等の情報提供を行います。

物流動向の調査

今後の港湾経営を検討するため、物流動向について様々な手法による情報収集を行い、調査研究します。

港湾統計事務

港湾計画の策定等へ活用できるよう、貨物量等を調査し、港湾統計データを作成します。

船席*指定事務

入港する船舶の船型や荷役に適したバースの指定及び係留位置の調整を行います。

飛島ふ頭南コンテナターミナル荷役機械整備事業（令和2年度完了）

飛島ふ頭南コンテナターミナルの取扱機能を強化するため、荷役機械（ガントリークレーン）の整備を行います。

名古屋港を利用する事業者への支援

（令和2年度における港湾施設使用料等の支払いを猶予する支援は完了）

新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される事業者に対し支援を行います。